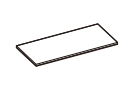
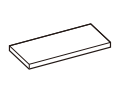
取付説明書［フィルムアンテナ用］

SSDポータブルナビゲーション
VICS専用フィルムアンテナ

付属品の確認

【　　】内はサービス販売部品コードです。
新たにご購入の際は、【　　】内の10桁のコードでご注文ください。

VICS専用
フィルム アンテナおよび取付部品一式
【661 166 9483】

フィルムアンテナ	アンテナケーブル	アーステープ	固定シート	クランパー	クリーナー
【661 149 8830】	【661 149 8816】	【661 149 8847】	【661 166 5522】	【661 103 8760】	【661 122 7393】
約6cm×25cm	約5m				
1枚	1本	1枚	2枚	3個	1枚

※上記記載の"cm""m"は部品のおおよその長さを表しています。
※その他の取り付けについては別紙の取付説明書［本体用］をご覧ください。

作業が困難な場合は、本機または車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
（作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。）

SSDとはSolid State Device（ソリッドステートデバイス）の略で地図データの記録媒体として（大容量）フラッシュメモリーを使用したものです。

三洋電機株式会社

三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
車載機器事業部
〒680-8634　鳥取県鳥取市立川町7丁目101

Printed in Japan　2RR6P12A65900

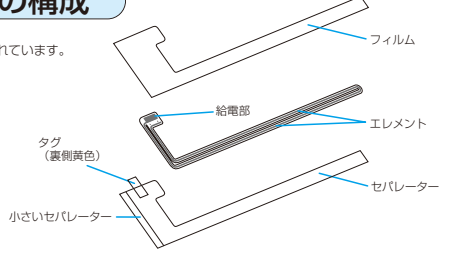
フィルムアンテナを貼り付ける前に

●貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
●車種によって、取り付けられない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車には、取り付けることができません。

●必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車検適合させるために、本書の「VICS専用フィルムアンテナについて」の「**■貼付許容範囲について**」および取付方法をよくお読みの上、正しく取り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断され不合格になります。
- 本商品はフロントウィンドウ専用です。それ以外の場所（リアウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下します。

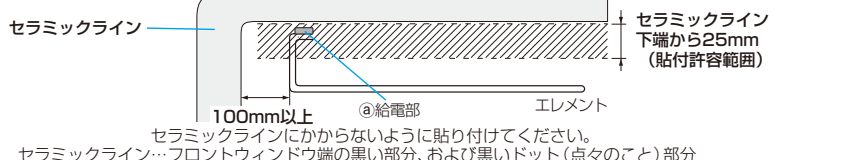
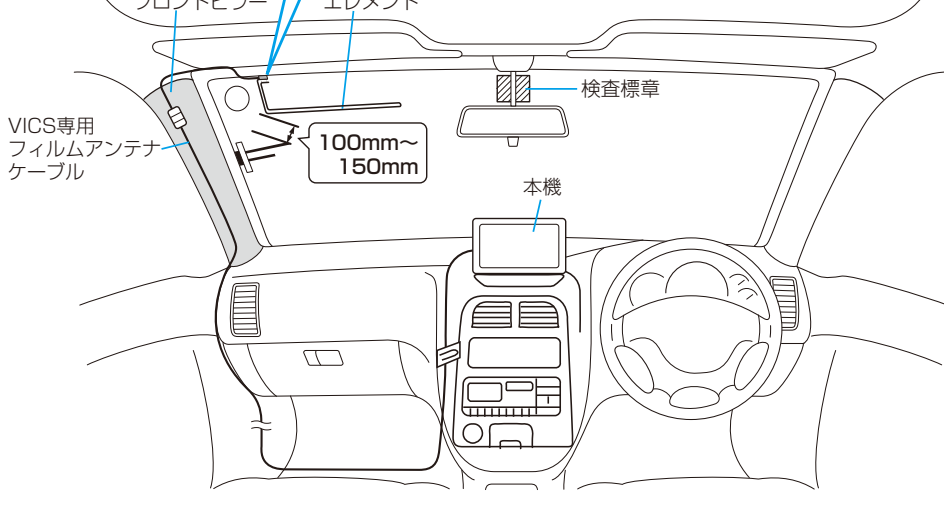
●アンテナのフィルムをはがした後、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。

必ずケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、ケーブルの引き回し等を十分に検討してから貼り付けてください。一度貼り付けると、貼り直しできません。

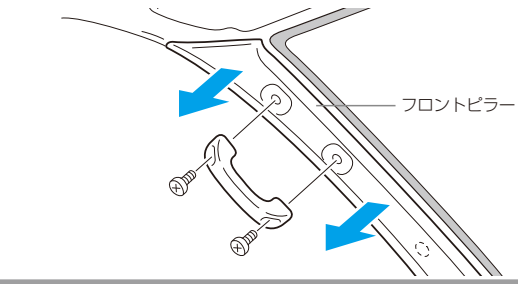
■取り扱い上の注意点
●アンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。
断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
●セパレーターやフィルムをはがした後は、貼り付け面に手をふれないでください。
フィルムアンテナの透明シート、クランパーのセパレーターをはがした後は手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
●アンテナのフィルムや給電端子のセパレーターをはがした後は、給電部などに手をふれないでください。
静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
●貼り付けた後、ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。
また、シールやステッカーはがし剤を使用しないでください。破損の原因となります。

VICS専用フィルムアンテナについて

VICS専用フィルムアンテナの構成

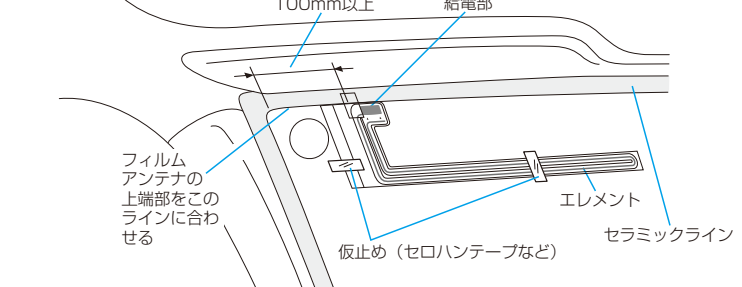
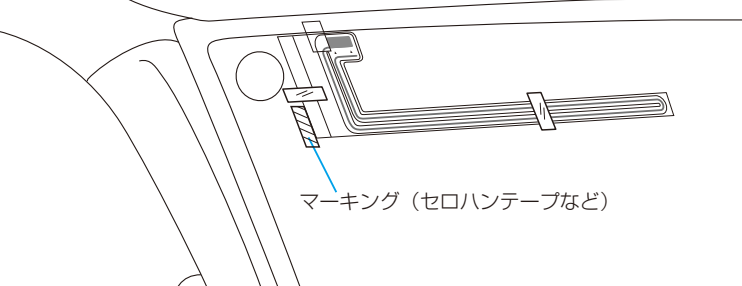
貼付位置／取り付け完成概略図について

●車検適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼り付けてください。
●VICS専用フィルムアンテナを左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに貼り付けてください。
●他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナからVICS専用フィルムアンテナを100mm〜150mm程度（下記〈**車内から見た図**〉参照）離して貼り付けてください。
●フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
●フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。
それ以外の場所には貼り付けないでください。
●フロントウィンドウに、すでに他のフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
（指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。）

VICS専用フィルムアンテナを取り付けるには（1）

注意　貼り付け位置を守らないと、国土交通省の定める保安基準に適合せず、道路交通法違反となります。

禁止　エアバッグのカバー部分および、作動の妨げになる場所には取り付け・配線しない。

配線をする前に

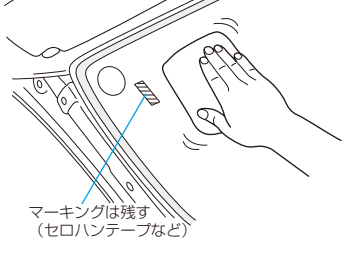
●作業中は車のキースイッチを「OFF」にしてください。

1 内張りを取り外す

（1）フロントウィンドウ横のフロントピラー（左）を取り外す。
- フロントピラーは、クリップや、ネジ等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。

2 貼付位置／取り付け完成概略図について をよく読んで貼り付け位置を決める（左記参照）

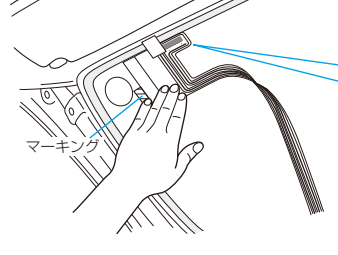
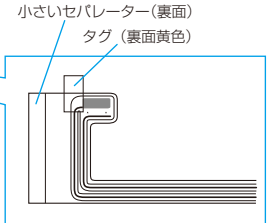
（1）エレメントの給電部を上にし、セラミックラインの下端に合わせ、セロハンテープなどで仮止めする。

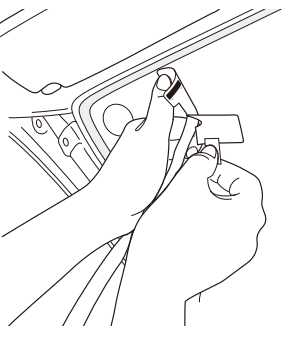
（2）エレメントの左右位置を、セロハンテープなどでマーキングする。

3 エレメントを貼り付ける

※マーキングは残して、仮止めしたフィルムアンテナを取り外してから行なってください。

エレメント貼り付けについてご注意
- エレメントのセパレーターは、エレメントののりの強さとフィルムののりの強さでバランスをとっていますが、エレメントが細いためまれに移行がうまくいかないことがあります。その場合はあせらず、一度元の状態に戻し、強く押し付けてからやり直してください。
- エレメント貼り付け直後（3時間以上）は貼り付けたエレメントにガラスクリーナー等を吹きつけたり、エレメントの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エレメント上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、エレメントに傷が付かないよう注意してください。

（1）フロントウィンドウの汚れ（ゴミ・油など）やくもり止めを付属のクリーナーで拭き取る。

冬場などは車のヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。

- クリーナーできれいに拭き取りフロントウィンドウは乾いた状態にしてください。

※フロントウィンドウが乾かないうちは貼り付けないでください。エレメントがフロントウィンドウに貼り付かなくなります。

（2）フィルムの端をガラスに付けて固定する。
- 小さいセパレーターをはがして、マーキング（セロハンテープ）に合わせて貼り付けてください。

（3）タグ（黄色）を持ってゆっくりとセパレーターをはがす。
- フィルムにエレメントが移っていることを確認しながらゆっくりと軽くはがしてください。

※エレメントがセパレーター側に残った場合は、フィルムを元に戻してエレメント上を押しつけて、再度セパレーターをはがしてください。（最初はフィルムに移っていても途中からセパレーターに残る場合もあります。その場合も同様に押し付けてから、はがしてください。）
- セパレーターを急にはがしたり極端にゆっくりはがしたり、フィルムを強く曲げたりするとエレメントが断線する恐れがあります。

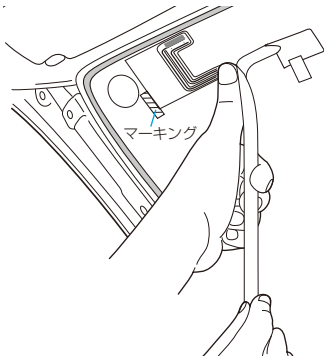
※セパレーターをはがした後は、のり面（エレメント色黒色の方側）に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。エレメントが貼り付かなくなります。

VICS専用フィルムアンテナを取り付けるには（2）

3（4）フィルムを軽く引っぱりながら貼り付ける。

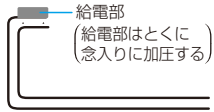
- フィルムがたるむと空気が入るため、指で強く押し付けながらマーキング（セロハンテープ）に合わせてガラスに貼り付けてください（途中で止まると白くにごります）。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- エレメントはセラミックライン部分にかからないようにしてください。セラミックライン部分には貼り付きません。

一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。

- セパレーターは指で押し付ける過程で押し出されるので軽くはがした後は触れずに貼り付けることができます。
- 位置が決まったら、マーキングをはがしてください。

（5）全面貼り付け後、エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残りやすいので念入りに加圧してください。

※加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。

- 加圧はエレメントを中心にしてください。
- 指での加圧が困難な場合は樹脂ヘラ等を使用してください。
- フィルムをフロントウィンドウに貼り付けた状態で車外から貼り付け部に気泡（白っぽく見えます）が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。

（6）フィルムを右端からゆっくりと左方向にはがす。

- エレメントがフロントウィンドウに転写されていることを確認しながらゆっくりとはがしてください。

※勢いよくはがすとエレメントが断線しますのでやめてください。

- ゆっくりとはがしてもフィルムとともにエレメントがはがれる（フロントウィンドウに転写されない）場合は、再度フィルムをフロントウィンドウに貼り付け、エレメントを強く押し付けてください。

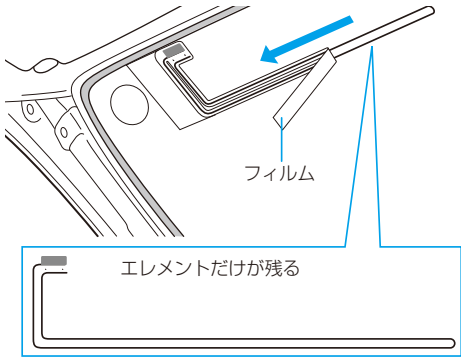
※フィルムをはがした後はエレメントの給電部に触れないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下する恐れがあります。

- 貼り付け直後はガラスクリーナー等を吹き付けないでください。
- 貼り付け完了後には柔らかい布等で上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。

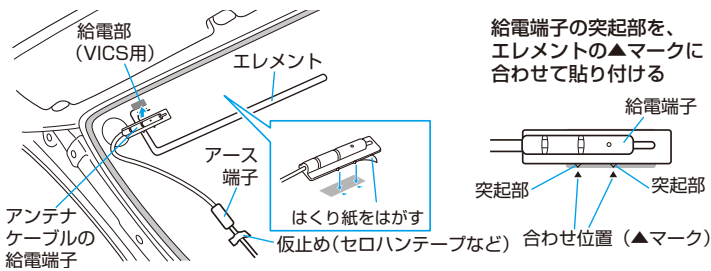
5（3）付属の固定シートを使用して、アース端子が浮かないように貼り付ける。

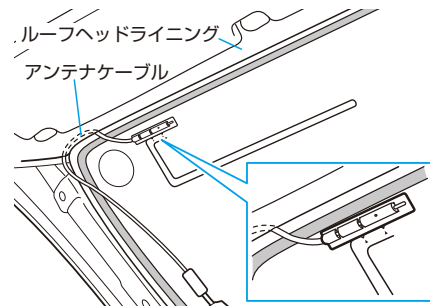
アース端子を固定するように上からしっかりと押さえて貼り付けてください。

固定シート
アーステープ
アース端子
固定シート

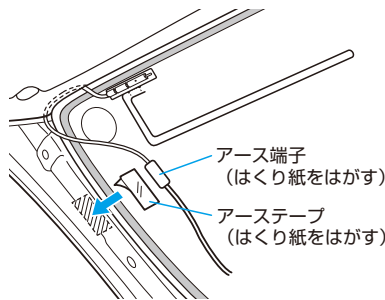
※固定シートを上からしっかりと押さえてください。

4 給電端子をエレメントに取り付ける

（1）アンテナケーブルの給電端子をエレメントの給電部に取り付ける。

- 給電端子のはくり紙をはがして、エレメントの給電部の▲印と給電端子の先端の突起部を合わせて取り付けます。
- アース端子付近をセロハンテープで仮止めしておくと作業がしやすくなります。

（2）アンテナケーブルをルーフヘッドライニング（天井の内張り）内に配線する。

- ルーフヘッドライニングの端の部分を少し下げ、アンテナケーブルをルーフヘッドライニング内に収めてください。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えてルーフヘッドライニングが折り曲がらないよう注意してください。
- 給電部に負担をかけないよう給電端子を手で押さえながら配線作業を行なってください。
- アンテナケーブルを強く引っぱったり、ストレスや、かみ込み等がないようにケーブルを配線してください。

5 アース部を車の金属部に貼り付ける

（1）ボディーにアーステープを貼り付ける。

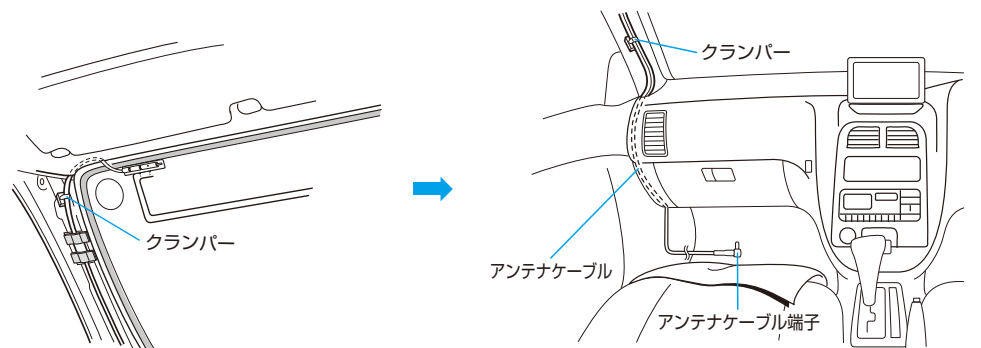
- アンテナケーブルのアース端子が届く範囲内で、車の板金ボディーにアーステープを貼り付けてください。（貼り付け面の汚れはよく拭き取ってください。）
- アーステープは、必ず車両の平面な金属部分に全体を貼り付けてください。平面でない部分やクリップ穴部、ネジ穴部等へは貼り付けないでください。またボディーの塗装をはがさないでください。

（2）アーステープの上にアース端子を貼り付ける。

- アース端子のはくり紙をはがし、アーステープに全体を貼り付けてください。アーステープからはみ出したり、貼り付いていない部分がないことを確認してください。

⚠警告 貼り付けが弱いと、アース端子が浮きVICSの受信感度が悪くなります。

6 アンテナケーブルを配線する

（1）クランバーでアンテナケーブルを固定しながら配線する。

- フロントピラーを取り付ける際にコードをかみ込まない位置に配線してください。

（2）内張りを元に戻す。

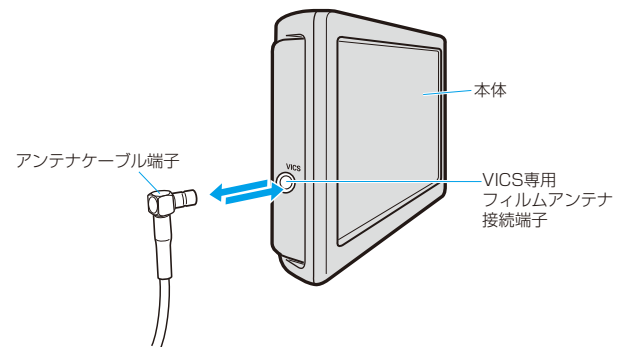
⚠警告 コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

7 本体に取り付ける

取り付け／取り外しかた

アンテナケーブル端子を本体側面のVICS専用フィルムアンテナ接続端子へ接続します。

※接続位置は、一例で記載しています。

付属の取扱説明書☞「各部の名称とはたらき」を参考にVICS専用フィルムアンテナ入力端子をご確認し接続してください。

⚠注意
- アンテナケーブルの端子はショートさせないでください。
- 取り外す場合は、アンテナケーブルのコードを引っぱらないでください。